

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 アリアケジャパン株式会社

コード番号 2815 URL <http://www.ariakejapan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田川 智樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室 部長

(氏名) 宮川 明夫

TEL 03-3791-3301

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,622	△0.9	1,230	△3.1	1,104	86.8	396	216.3
21年3月期第2四半期	10,715	—	1,269	—	591	—	125	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.45	—
21年3月期第2四半期	3.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	51,192	42,247	82.1	1,319.86
21年3月期	49,247	41,308	83.4	1,290.55

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 42,009百万円 21年3月期 41,077百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00			
22年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,241	11.5	3,016	4.3	3,012	64.6	1,336	69.2	41.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 32,808,683株 | 21年3月期 | 32,808,683株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 979,495株 | 21年3月期 | 979,122株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 31,829,294株 | 21年3月期第2四半期 | 31,830,496株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策やアジア向け輸出の回復に伴って、一部景気の持ち直しの兆しが見られたものの、依然として企業収益は低迷し、雇用環境や個人消費は改善に至りませんでした。

食品業界においても、消費者の節約傾向の高まりから低価格志向が強まっていることに加えて、天候不順の影響もあり、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、天然調味料のリーディングカンパニーとして既存事業の拡大と新規事業の積極的な展開を図り、「おいしさ」「健康」「安全」に貢献するとともに収益増大に努めました。

当社は世界の食文化の発展に寄与するために、創業以来継続してグローバル化を推進しており、米国・中国・台湾・フランス・ベルギーの各拠点による「全世界6極体制」を構築し、高品質で安価な商品を安定的に供給できる「最適地生産方式」を確立しました。すなわち、当社の新たな「21世紀ビジネスモデル」のスタートです。

このような諸施策の結果、当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の経営成績は、以下のとおりとなりました。

まず売上高は、当社（アリアケジャパン(株)）は当社のストロングポイントを發揮させ、顧客本位の営業を展開し拡販に努めた結果、前年同期比1.3%増の9,495百万円となりました。

業種別の売上高は、即席麺向けが前年同期比で2.3%減少した一方、加工食品向けは、前年同期比で1.1%増加しました。外食向けにつきましては、拡販に努力した結果売上もやや回復し、前年同期比で3.2%増加しました。

また、連結売上高は、アリアケジャパン(株)の売上高増加にも拘らず、米国を中心とした不況により海外子会社の売上が減少したことから、前年同期比で0.9%減少して10,622百万円となりました。

次に経常利益は、当社は燃料費が減少（約160百万円）したほか、輸入取引の為替変動をヘッジする目的で契約しているデリバティブ取引評価損が減少（前期488百万円の評価損、今期127百万円の評価損）したこともあり、前年同期比603百万円増加（前年同期比58.3%増）の1,637百万円となりました。

連結経常利益は、海外子会社の業績が不振であったものの、当社の利益増が貢献して、前年同期比513百万円増加（前年同期比86.8%増）の1,104百万円となりました。

四半期純利益につきましては、当社は933百万円（前年同期比362百万円増）、連結四半期純利益は396百万円（前年同期比271百万円増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,944百万円増加し、51,192百万円となりました。

負債は、主として未払法人税等及び借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ1,004百万円増加し、8,944百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ939百万円増加し、42,247百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は8,377百万円となり、前連結会計期間年度末と比較して167百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1,848百万円の収入（前年同期比29.0%増）となりました。主なプラス要因は、当期純利益の増加であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1,238百万円の支出（前年同期は5,032百万円の支出）となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、363百万円の支出（前年同期は357百万円の収入）となりました。主な支出は、配当金の支払637百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨今の景気動向に鑑み、食品業界における全般的な消費停滞傾向は否めず、当社グループの通期の見通しにつきましては、平成21年5月13日に公表いたしました業績予想を以下のとおり下方修正し、平成21年11月6日に公表しております。

なお、平成21年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,089	3,578	3,522	1,861	58 47
今回修正予想 (B)	24,241	3,016	3,012	1,336	41 97
増減額 (B-A)	△1,848	△562	△510	△525	—
増減率 (%)	△7.1	△15.7	△14.5	△28.2	—
前期実績	21,736	2,890	1,830	789	24 80

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,377,147	12,209,823
受取手形及び売掛金	4,593,830	4,551,662
有価証券	—	87,470
商品及び製品	1,497,811	1,439,447
仕掛品	482,197	442,564
原材料及び貯蔵品	1,769,381	1,889,528
繰延税金資産	105,499	105,499
その他	323,843	169,686
貸倒引当金	△10,823	△10,022
流動資産合計	21,138,888	20,885,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,207,658	17,695,650
減価償却累計額	△7,009,638	△6,569,131
建物及び構築物(純額)	12,198,020	11,126,518
機械装置及び運搬具	20,017,357	19,373,308
減価償却累計額	△13,396,532	△12,762,939
機械装置及び運搬具(純額)	6,620,824	6,610,368
土地	4,515,231	4,499,335
建設仮勘定	1,442,124	2,365,977
その他	831,770	806,823
減価償却累計額	△715,463	△693,056
その他(純額)	116,307	113,767
有形固定資産合計	24,892,508	24,715,967
無形固定資産		
投資その他の資産	81,808	88,427
投資有価証券	3,557,772	2,035,486
長期貸付金	391,875	90,009
投資不動産(純額)	554,352	557,386
繰延税金資産	—	291,678
その他	575,085	583,382
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	5,078,820	3,557,678
固定資産合計	30,053,138	28,362,072
資産合計	51,192,026	49,247,733

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,900,670	1,799,221
短期借入金	2,858,886	2,447,666
未払法人税等	740,975	231,125
賞与引当金	145,629	146,800
役員賞与引当金	—	59,700
その他	1,780,651	1,916,545
流動負債合計	7,426,814	6,601,059
固定負債		
退職給付引当金	574,065	584,751
役員退職慰労引当金	273,506	280,355
繰延税金負債	296,921	98,796
その他	372,739	374,535
固定負債合計	1,517,232	1,338,438
負債合計	8,944,046	7,939,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	28,801,401	29,041,642
自己株式	△2,058,239	△2,057,727
株主資本合計	41,672,127	41,912,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	811,195	70,337
為替換算調整勘定	△473,342	△905,512
評価・換算差額等合計	337,852	△835,175
少数株主持分	238,000	230,531
純資産合計	42,247,979	41,308,234
負債純資産合計	51,192,026	49,247,733

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	10,715,039	10,622,318
売上原価	7,402,583	7,348,265
売上総利益	3,312,455	3,274,053
販売費及び一般管理費	2,042,525	2,043,586
営業利益	1,269,930	1,230,467
営業外収益		
受取利息	22,736	22,592
受取配当金	27,309	29,640
受取家賃	14,623	13,875
為替差益	3,212	—
有価証券売却益	18,542	14,803
その他	93,382	93,677
営業外収益合計	179,806	174,588
営業外費用		
支払利息	58,112	20,328
為替差損	—	93,469
デリバティブ評価損	488,804	127,325
海外新事業費用	260,166	26,012
その他	51,610	33,814
営業外費用合計	858,694	300,950
経常利益	591,042	1,104,105
特別利益		
固定資産売却益	1,898	—
特別利益合計	1,898	—
特別損失		
投資有価証券評価損	48,475	—
特別損失合計	48,475	—
税金等調整前四半期純利益	544,465	1,104,105
法人税等	419,831	713,065
少数株主損失(△)	△690	△5,310
四半期純利益	125,324	396,350

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	544,465	1,104,105
減価償却費	1,048,273	980,887
のれん償却額	9,831	9,831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	75	800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,599	△10,685
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,668	△6,849
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△892	△1,170
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59,700	△59,700
受取利息及び受取配当金	△50,045	△52,232
支払利息	58,112	20,328
為替差損益 (△は益)	△4,242	109,271
有価証券売却損益 (△は益)	△18,542	△14,803
有価証券評価損益 (△は益)	23,730	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	48,475	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,556	△19,795
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△375,810	50,485
仕入債務の増減額 (△は減少)	△76,751	104,174
その他	904,859	△216,981
小計	2,046,350	1,997,667
利息及び配当金の受取額	50,045	52,232
利息の支払額	△58,112	△20,328
法人税等の支払額	△604,979	△181,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,433,303	1,848,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000,000	—
有価証券の取得による支出	△377,883	—
有価証券の売却による収入	297,392	102,273
有形固定資産の取得による支出	△858,891	△737,045
有形固定資産の売却による収入	2,048	—
投資有価証券の取得による支出	△92,191	△264,922
貸付けによる支出	△4,121	△355,150
貸付金の回収による収入	4,273	21,908
その他	△3,613	△5,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,032,986	△1,238,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	835,807	274,849
自己株式の取得による支出	△1,144	△511
配当金の支払額	△477,001	△637,456
その他	16	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	357,678	△363,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,256	△79,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,249,261	167,324
現金及び現金同等物の期首残高	11,620,276	8,209,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,371,014	8,377,147

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,586,165	1,128,873	10,715,039	—	10,715,039
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,488	605,164	614,653	(614,653)	—
計	9,595,654	1,734,037	11,329,692	(614,653)	10,715,039
営業利益(又は営業損失)	1,520,009	(512,261)	1,007,747	262,182	1,269,930

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,698,328	923,989	10,622,318	—	10,622,318
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,486	430,716	433,203	(433,203)	—
計	9,700,815	1,354,706	11,055,522	(433,203)	10,622,318
営業利益(又は営業損失)	1,803,070	(557,059)	1,246,011	(15,543)	1,230,467

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域……米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	北米	アジア	計
I 海外売上高(千円)	423,973	764,017	1,187,991
II 連結売上高(千円)	—	—	10,715,039
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.0	7.1	11.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……米国

(2) アジア……中華人民共和国(香港含む)、中華民国、大韓民国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。